

<No19 : 写真測量>

次の文は、公共測量において無人航空機（以下「UAV」という。）により撮影した数値写真を用いて三次元点群データを作成する作業（以下「UAV 写真点群測量」という。）について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. UAV を飛行させるに当たっては、機器の点検を実施し、撮影飛行中に機体に異常が見られた場合、直ちに撮影飛行を中止する。
2. 三次元形状復元計算とは、撮影した数値写真及び標定点を用いて、地形、地物などの三次元形状を復元し、反射強度画像を作成する作業をいう。
3. 検証点は、標定点からできるだけ離れた場所に、作業地域内に均等に配置する。
4. UAV 写真点群測量は、裸地などの対象物の認識が可能な区域に適用することが標準である。
5. カメラのキャリブレーションについては、三次元形状復元計算において、セルフキャリブレーションを行うことが標準である。